

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業 ブラッシュアップ応援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 企画係

電話番号：058-272-1111 (内 2681)

E-mail： c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,343 千円 (前年度予算額：1,343 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,343	0	0	0	0	0	0	0	1,343
要求額	1,343	0	0	0	0	0	0	0	1,343
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」は、従業員の働きやすい職場環境が整い、「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に積極的に取り組む企業として、県が認めた優良企業である。エクセレント認定企業が、岐阜県を代表する優良企業としての気概を持ち、県内外からの優秀な人材を引き付ける魅力的な存在であり続けるため、絶えずその取組みをブラッシュアップさせ、進化していく必要がある。

・さらに適合性確保の取組みとして、過去に認定したエクセレント企業の中で、認定基準を満たさない企業に対し認定取消しを行い、エクセレント企業のブランド力の維持を図る。

(2) 事業内容

①エクセレント企業へのフォローアップ、アドバイザーとの面談

・これまでに認定したエクセレント企業は166社あるが、認定制度開始から10年が経過しており、「女性活躍推進法」「働き方改革関連法」が施行される

など企業や労働者を取り巻く環境が変化する中、エクセレント企業の中には、時代の要請に対応しきれていない企業もある。

・こうしたワーク・ライフ・バランス推進の取組みが停滞している企業を中心に、アドバイザー（社労士）による訪問や、オンライン面談を実施し、エクセレント企業認定基準を満たすよう取組内容を点検し、課題解決に向けた助言等を行う。

②エクセレント企業を対象とした相談会及び学習会の開催

・エクセレント認定後に抱える課題等を専門家に個別に相談する機会を設定。
・ロールモデルとしての役割を徹底し、他県の先進事例などを通じて、さらなる取組みを促す学習会を開催するとともに、エクセレント企業同士の意見交換等も実施することで、エクセレント企業同士のネットワークづくりにも寄与する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・広域的な企業への取組みとして県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
エクセレント企業への訪問指導（専門家派遣）及び相談会、学習会開催	1,343	フォローアップ訪問時の職員業務旅費 学習会講師謝金及び費用弁償 等
合計	1,343	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 → 誰もが活躍できる社会
- ・県男女共同参画計画（第4次） → ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・第4次少子化対策基本計画 → 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ・県女性の活躍推進計画 → エクセレント企業の認定拡大

事業評価調査（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

清流の国ぎふ創生総合戦略
 岐阜県男女共同参画計画（第4次）
 ○岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数
 R2末 166社 → R5末 250社

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R5)	
① 岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数	-	166	194	222	250	66.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 （1）エクセレント企業へのフォローアップ訪問（2社） （2）エクセレント企業の個別相談会の開催（1回 2社） （3）適合性確保の取組みに関する説明会（3回 107社） ・企業訪問や相談会の開催により、専門家等からの指導・助言を実施したことでワーク・ライフ・バランスを推進するうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>共働き世帯の増加や高齢化に伴う介護負担の増加により、労働者のニーズが多様化する中で、仕事と家庭を両立しながらいきいきと働き続ける環境の整備をより一層推進する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>エクセレント企業の取組みは全国的にも評価され、県内企業における取組みも促進されているが、今後4年間で目標を達成するためには、エクセレント企業認定に向けた支援を加速させる必要がある。</p> <p>H25：内閣府 総理大臣表彰 1社（フェニックス：介護） 内閣府 特命担当大臣表彰 1社（ノバネットワーク：介護） H26：内閣府 特命担当大臣表彰 1社（アース・クリエイト：建設） 厚労省 イクメングランプリ 1社（アース・クリエイト：建設） H27：内閣府 総理大臣表彰 1社（萩原北病院：病院） H29：内閣府 特命担当大臣表彰 1社（足近保育園：保育）</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>先進的に取り組む企業を育成し、そのノウハウを他の企業に普及させることで、全体のレベルアップを図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>エクセレント企業は、令和2年度末で166社認定しており、全国表彰を受賞する企業も出るなど、その取組みは高く評価されている。</p> <p>しかしながら、エクセレント企業認定制度開始から10年が経過し社会情勢などが変化してきたことから、過去に認定した企業の中には、ワーク・ライフ・バランス推進の取組みが停滞している企業が見受けられる。エクセレント企業ブランド力の維持のため、専門家による指導・助言を実施しながら、ワーク・ライフ・バランス推進の取組みの維持・向上を促していく。</p>
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

エクセレント企業が、県内企業のワーク・ライフ・バランス推進の主体的な役割を担ってもらえるよう、専門家の派遣や企業同士のネットワークを構築する学習会の実施などにより、認定後の新たな課題への対応や他社の優良な事例を取り入れるといったエクセレント企業として更なる高みを目指す主体的な取組みを後押ししていく

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	